

## ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

## 支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

## 礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局  
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレイنزヒル岩崎201  
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817  
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <http://www.cornerstone.or.jp>

f 礎の石孤児院のFacebookページを「いいね!」して活動を応援してください。



卒業生のカイくんも遊びに来てくれます!(カンボジア孤児院)

皆さんの尊いご支援、ご協力をいつもありがとうございます。

皆様のご協力ももちまして、カンボジアの孤児院の政府登録が無事完了致しました。少し時間がかかったようですが、すべての孤児院は政府への登録が義務付けられており、登録完了の連絡を受けホッとしている所です。しかし孤児院の働きにおいてはホッとする暇もなく、先日新しく女の子を孤児院へ迎えました。本当に助けなければならない子供たちの数の多さから見ればまだまだ僅かではありますが皆さんと共にさらに働きを進めていきたいと思うばかりであります。

ザンビアの方では停電や水不足など生活に直結する所での問題があり、想像できないような苦勞があります。ザンビア政府のインフラ整備全体に関わることなので、すぐには問題解決には至らない様ですので、事務局としてもどの様な助けが出来るかと思索している所であります。

また、1月1日には東京の有志の方々による路地チャリティーコンサートが行われ多くの方々の目に留まっていた様です。さらに多くの方々へ私どもの働きを知っていただきご賛同くださればと思っています。

孤児院の働きのためには皆様のご協力が不可欠です。どうぞこれからも皆様のご支援ご協力何卒よろしくお願ひいたします。

認定NPO法人 礎の石孤児院 理事長 北野 直人

## カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チヨムリアブスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。

昨年の12月に3歳くらいと思われる女の子を受入れました。家庭に問題がある子ども達を政府機関の要請により受入れている団体があり、そこでは短期的なケアを行ってられる為、問題が長期化したり、家族が受取拒否をする場合もあるそうで長期的なケアが必要になる子ども達は別の場所に移動が必要となる為、私達の孤児院に問い合わせがありました。一緒に連れて来て下さった団体の方々が帰られても無表情のまま泣かなかったのにはビックリしましたが、その日の夕方には孤児院にいる子ども達と一緒にいて微笑んでいる姿を見て少しホッとしました。健康面では、来た当初風邪気味で微熱があり咳が出ていましたが、病院での検査なども行って、今ではすっかり元気になっています。毎日、笑ったり泣いたり、歌ったりと孤児院の生活にもすっかり馴染んで来ているようで、スタッフ一同喜んでます。他の子ども達と共に、健やかに成長出来るようにと心から祈り願っています。



3歳の女の子PT(写真左)を受入ました

## フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

フィリピンの子どもたちに対する皆様のご支援、ご協力を心から感謝致します。皆様のご支援により、昨年の12月30日に、年に一度各地の就学支援生が集まる「年末感謝パーティー」をタマヨングプレイヤーマウンテンで行うことが出来ました。そこは子どもたちの夢を叶えるディズニーランドのような場所で、子どもたちはもちろん、引率のスタッフたちも大喜びでした。華やかなパレードや、アニメのキャラクターのイルミネーションなど、体験したことのないファンタスティックな雰囲気に子どもたちは終始大興奮でした。皆様のご支援によって、子どもたちにこのような素晴らしい時間をプレゼントすることが出来ました。心から感謝致します。



遊園地に皆んなで来ています

1月は、16日と17日または23日と24日に3回目の学期テストがあります。また高校や中学では、Prom(学年末大ダンスパーティー)の準備が始まります。2020年も引き続き、フィリピンの子どもたちのために皆様のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

## ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の日頃のご支援に、心から感謝申し上げます!

昨年よりの深刻な雨不足で、今年はザンビアの飢餓が心配されています。

実際、物価の高騰、毎日15時間の停電で、社会情勢が不安定となって、日々フラストレーションとの闘いが続いています。それでも、学校に通う子どもたちの笑顔と、真剣に学ぶ姿を見て、自らを奮い立たせています。

先月から学期休みに入っていますが、久しぶりに姿を見ると、ほとんどの子は、家でご飯をしっかりと食べていないのが見て分かるほど、頬がコケていたりして、とても心が痛みます。特にHIV陽性の子たちは、栄養不足になると、些細な病気が命取りになるので、配慮して挙げなければいけません。今後は、学期休み(通常1ヶ月)を短縮し、子どもたちを、給食を通して学校で養い続ける体制を整える事が課題になります。1ヶ月20人の給食費は6万円程です。どうか皆様の継続したご支援を、宜しくお願い致します。



日本からお客さんが来て下さり、とても楽しいひと時を過ごしました

## ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様のご支援をありがとうございます。数日間気温が上がって厳しい暑さになっていましたが、今日は雨が降り、心地良い雨音を聞きつつ、雨のありがたみを痛感します。先日は住んでいる集合住宅の知り合いの人が「この中に麻薬を吸っている人がいる」と教えてくれて、本気にしなかったのですが、ある日共有の通路にたくさんの人々が座り込んで、恍惚状態で煙を吐いているのを見ました。異様な雰囲気、確かに煙草とも匂いが違い、まさか遠い世界のこととだけ思っていただけに



元気です

ショックでした。市内でお店を営んでいる知人に相談したところ「友人は警察に通報して殺された」そうで、他の知人に相談すると、「警察もやっている人がいるから藪蛇だ」とのこと。ブラジルでは普通に麻薬の事件のニュースを聞くので、避けては通れない事柄なのかもしれません。しかし引越しができるようにも不動産屋を見て物件を探すとともに、他の住人の方々と情報をやり取りし注意しています。身の危険と背中合わせですが、この地でも孤児院の働きが開かれますよう、さらなるご支援をどうぞよろしくお願いいたします。